

次のページが資料になります。

「いさかん」とは？

諫早湾干拓地の略称です。

営農以外にもこの広大な空間を利用した地域活性化のために、令和元年度から地元関係団体、諫早市と長崎県県央振興局で協議会を設立し、官民一体で様々な取組を行ってまいりました。干拓地及びその周辺に新たな魅力が生まれています。

本明川水域

穏やかな流れと長い直線距離を有する本明川水域は、競技用ボートの練習に適した環境として全国でも有数のポテンシャルを有しており、この水域を活用して、実業団ボートチームや高校ボート部が練習を行っています。

他県の大学・実業団のボートチームが合宿に訪れる機会も増えています。

また、自然豊かなこの水域では多くの野鳥を見ることもできますので、他県からバードウォッチングにお越しになる方も多いです。



< 競技用ボート練習 >



< チュウシャクシギ >



< ボート体験教室（乗艇） >



< ボート体験教室（艇庫見学） >

干拓の里

様々な遊具で遊んだり、体験ができるこの干拓の里と協力して諫早湾干拓の各地を見学して回る「いさかん見学会」を開催しています。

< 干拓資料館 >

< コスモス花宇宙館から見渡す >



自然干陸地
フラワーゾーン

本明川水域
(ボート練習場)

自然干陸地フラワーゾーン

地元のNPO団体を中心となって、小江干陸地にコスモスを植栽しており、一面ピンク色に彩られています。

満開になる頃、様々なイベントが盛り込まれたまつりも開催されています。



中央干拓地（営農地）

干拓地は元々海だったことから干拓によって作られた農地はミネラル分が豊富であり、化学肥料の使用を極力おさえた環境に優しい農業を取り組まれております。

【諫早湾干拓で収穫される野菜】

たまねぎ、にんじん、はくさい、白ねぎ、ばれいしょ、ブロッコリー、トマト、キャベツ、レタス等

夏季（7月～9月）は秋野菜や冬野菜の植え付け時期のため野菜そのものを見ることはできません。

冬季（10月～1月）は、豊かな実りの風景を見ることができます。



<レタス収穫様子>



<飼料作物梱包作業>



<たまねぎ防除機>



<たまねぎ収穫作業>

内部堤防

4月末ごろ見頃を迎えると、内部堤防の斜面が可愛らしい「クリームソクローバー」の赤い花でいっぱいになるように植栽しています。

また、内部堤防の先には、広大な干陸地が広がっており、野鳥や、ヨシの群生、調整池を一望することができるなど諫早湾干拓の雄大な景観を楽しむことができます。

堤防道路

諫早市高来町と雲仙市吾妻町を結ぶ約7kmの堤防道路。

中央駐車場からは調整池と諫早湾を一望ことができ、調整池を訪れる野鳥を多く見ることができます。



<堤防道路（9月撮影）>



<内部堤防から見たヨシ原>



<クリームソクローバーの開花>



<アオサギ>



<堤防斜面を彩るクリームソクローバー>